

## JHAstis 導入アンケート&事例紹介

### 改善活動スタート 9 割、地域の医療・介護連携をサポート

「データを可視化」「強みと弱みが明確に」「病床戦略の重要資料」

日本病院会が推進する「出来高算定病院経営支援事業（略称：JHAstis＝ジャスティス）」が、具体的な病院経営の改善活動につながっていることが、アンケート調査と導入病院への取材などから明らかになってきました。事業の軸となる経営分析レポートを閲覧した病院に対するアンケート調査によると、9 割の病院の改善活動につながっており、特に地域の医療・介護連携の推進に寄与。「改善内容が具体的で分かりやすい」「未分析項目のデータを可視化できた」「自院の強みと弱みが明確になった」「今後の病床戦略の重要資料として活用する」などの声もいただいております。



### 経営コンサル豊富な実績企業が分析を担当

JHAstis は、「日本病院会戦略情報システム（Japan Hospital Association Strategy Tactics Information System）」の略称。参加病院から提供される「患者の個人情報などを匿名化したレセプトデータ」を基に、個々の病院ごとに、経営改善に必要な各種データを定期的にレポート形式で配信しています。

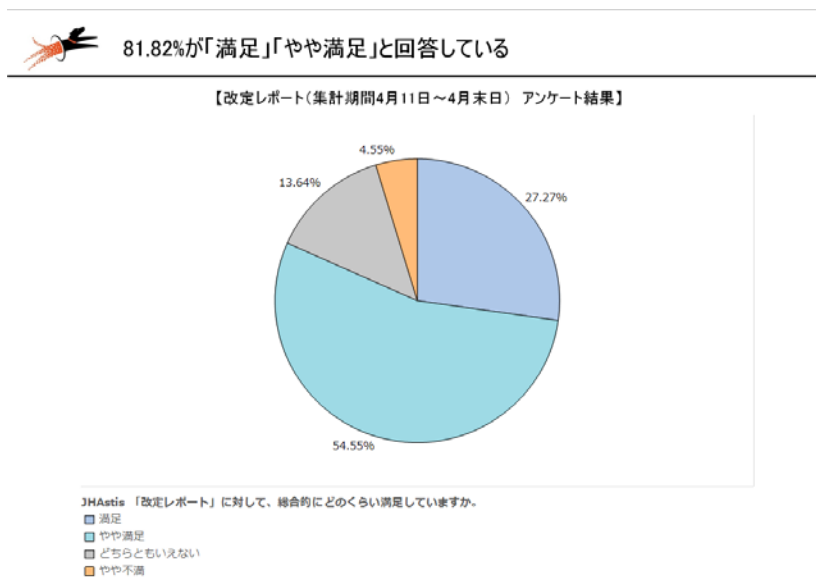
レポートは病院経営コンサルティングで実績のある株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンが担当（ホームページは [こちら](#)）。DPC データやレセプトデータの豊富な分析経験を生かし、主要な経営指標の分析や診療科別の分析、加算算定に関する分析などをレポートしています（JHAstis の詳細は [こちら](#)）。

JHAstis のレポートは 2016 年 5 月から「月次レポート」として本格的な配信をスタートしたのですが、前倒しで 2016 年度診療報酬改定に関する「臨時レポート」を配信。今回、この臨時レポートに関するアンケート調査を実施しました。

アンケートは、2016 年 4 月 11 日から 30 日までの約 2 週間実施。調査はインターネット上のアンケートサイトで行い、案内を送った 100 病院中 22 病院が回答しました。

## 8 割の病院が診療報酬改定レポートに満足

2016 年度診療報酬改定に関する解説と改定の影響について分析した二部構成の臨時レポートに対して、総合的な満足度を聞くと、「やや満足」が 54.6%で最も多く、「満足」27.3%、「どちらともいえない」13.6%、「やや不満」4.6%の順でした。「満足」あるいは「やや満足」と回答した病院は 81.8%で、8 割の病院がレポートの内容に満足していることが分かりました。



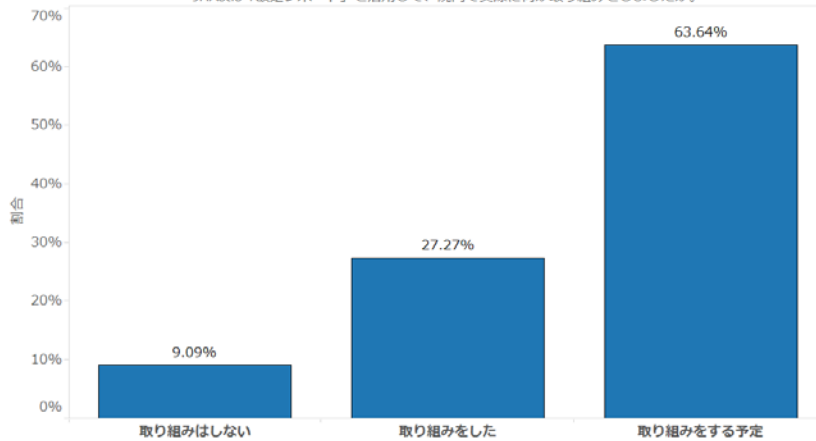
改定レポートを活用して院内で実際に何か取り組みをしたか否かを聞くと、「取り組みをする予定」が 63.6%で最も多く、6 割超の病院が臨時レポートをきっかけに、何かしらの改善活動に向けて動き出しています。さらに、すでに「取り組みをした」との回答が 27.3%あり、合計して 90.9%と 9 割の病院における改善活動スタートの支援材料になっていることが明らかになりました。



今回のレポートをきっかけに、実に9割のユーザーの取り組みにつながった。

【改定レポート(集計期間4月11日～4月末日) アンケート結果】

JHastis「改定レポート」を活用して、院内で実際に何か取り組みをしましたか。

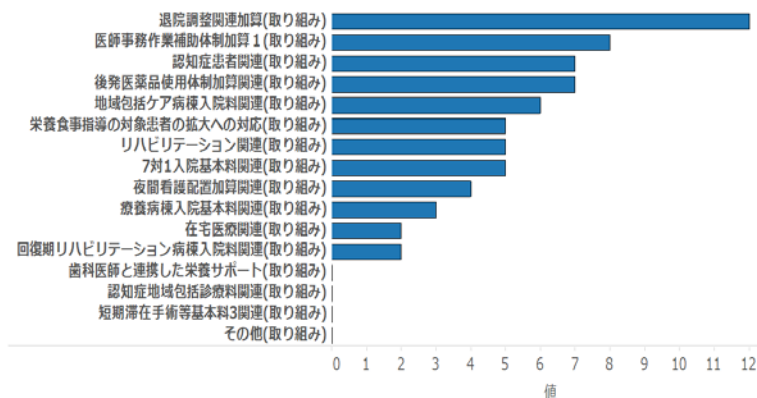


さらに具体的な取り組みの内容について尋ねると、12 病院が「退院調整関連加算」と回答。退院調整関連加算は、2016 年度診療報酬改定の重要項目であるだけでなく、団塊世代がすべて後期高齢者になる「2025 年問題」に向けて政府が重視する病院の「機能分化」「医療連携」を推進する上で、非常に重要な診療報酬上の評価の一つであるとも言えます。臨時レポートの配信が、地域の医療・介護連携を推進しつつある可能性が示唆されています。



取り組みした病院が最も多い項目は、退院調整関連加算である。

【改定レポート(集計期間4月11日～4月末日) アンケート結果】



### 改善内容が具体的で分かりやすい

アンケート調査後、個別に JHastis 導入病院への取材も実施。いち早く JHastis に手を上げていただいた医療法人愛広会新潟リハビリテーション病院の阿部事務長と、伊東医事

課長にお話を伺いました（ホームページは [こちら](#)）。

TEL/025-388-2111 FAX/025-388-3010  
〒950-3304 新潟県新潟市北区木崎761番地  
(財)日本医療機能評価機構 認定病院

Quality of Life

●病院機能評価 ver.6  
●付加機能  
「リハビリテーション機能(回復期)」ver.2



目指しているのは  
心もいっしょに回復すること。

新潟リハビリテーション病院は、リハビリ、整形、スポーツリハビリに質の高い診療を目指した総合的なリハビリテーション病院です。

■新着情報 ■患者さまへ ■医療関係者の皆様へ ■病院のご紹介

外 来 採用案内 病院紹介

### 新潟リハビリテーション病院のホームページ

新潟リハビリテーション病院は、新潟市北区に位置する「リハビリ」「整形」「スポーツリハビリ」の分野で質の高い診療提供を目指す総合的なリハビリテーション病院です。病床数は168床で、一般108床、療養病床60床で回復期リハビリテーション病棟1、地域包括ケア入院医療管理料1を算定している病床構成になります。

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士合計70名近い常勤スタッフと広い訓練室や病棟でのリハビリも組み合わせ、患者さんの状況に応じた対応をしている。同区内にある新潟医療福祉大学と連携のもと、充実したリハビリ内容を提供し、365日リハビリテーションを実施することで患者さんの早期社会復帰を目指しています。先進医療機器を用いた診療も行い、他にメディカルフィットネスと多目的ホールを併設し、一歩進んだリハビリテーション（トレーニング等）を行うことで、患者さんの様々な要望に応じている。

JHAstisの臨時レポートについて伊東医事課長は、「あとどれだけ後発医薬品を使用すれば後発医薬品使用体制加算を算定できるのかなど、アドバイスが非常に具体的で分かりやすい。手術における薬剤費や材料費の変動率など、これまで分析してこなかった項目の分析も加えられている。以前から『データの可視化』をしたいと考えていたところ、今回のJHAstisを活用することで、当院における診療報酬の算定状況だけでなく、『どこがウィークポイントなのか』も明確になった」と評価します。



左から阿部事務長、伊東医事課長

さらに、「現在、法人本部と今後の病床戦略などをより具体的に話し合っており、その際の重要資料として活用している」（伊東課長）とし、今後は「院内における経営管理会議資料」「予算・事業計画立案の際のエビデンス」としても活用する方針。阿部事務長と伊東課長は、JHAstisの今後の展開について「ケアミックス病院全体の中でのベンチマーク分析」「病床機能報告制度などのトピック事項」「職員1人当たりの生産性」などのデータ分析に特に期待を寄せています。

新潟リハビリテーション病院への詳細な取材記事は、グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンが運営する医療ニュースサイト「メディ・ウォッチ」に掲載されていますので、詳細についてはそちらをご確認ください（関連記事『新潟リハビリテーション病院、戦略的な病院運営のために日本病院会の「JHAstis」を活用』）。

アンケート調査後も、JHAstisの参加病院は増加し続けています（2016年6月14日時点で120病院）。今後もこちらのホームページ等でアンケート結果や導入病院の声を掲載予定ですので、新しい情報が入りましたら別途、ご案内させていただきます。